

球磨村 おがわ瓦版

令和3年2月15日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

しゅんなめじよ作り

渡小学校と小川班

小川班では、25年目を迎えた新春恒例の伝統行事「カジの釜茹で・カジの皮剥きとしゅんなめじよ作り」が、1月10日(日)に小川地区内の椎谷供水場(しいだん)で行われた。

毎年、この行事に参加している渡小学校(児童75人)は、PTA行事で地域の昔の文化の体験を通して小川班と交流を続けているが、今回はコロナ禍の影響でやむなく参加を見送っていた。そのため、小川班は「しゅんなめじよ作り」だけでも体験してもらおうと渡小学校へ、しゅんなめじよの材料一式(皮を剥いたカジの木や竹串としゅんなめじよを差す俵など)を贈った。

1月22日(金)渡小学校(一勝地小学校敷地内の仮設校舎)では3年生児童(12人)が、総合的な学習の授業で六時限目に「しゅんなめじよ作り」をした。授業は担任の福田智義先生と球磨村教育委員会の簗田恵さん(小川班)が指導した。はじめに簗田さんから「しゅんなめじよ」の説明があり、教えてもらいながらカジ紙で衣装を作



作り方を教わる児童



完成したしゅんなめじよ

り、衣装に思い思いの絵柄を書いた。竹串に刺したカジの木に顔を書いて衣装を糊付けした。そのあと出来たしゅんなめじよと粘土で模した三種の餅(米、栗、よもぎ)を榎木の枝に刺し俵に飾り完成した。

児童は「人形の顔を描くとき変な顔になっておもしろかったです」「みんなかわいくできて楽しかったです」「餅飾りを楽しみながらお米が一杯取れますようにと願って作りました」などと話し、意味も理解しながら作っていた。「しゅんなめじよ」は職員室前に飾られた。来年は小川地区住民と一緒にできることを楽しみにしている。



山あいに笑い声響く!

渡地区系原班

JR肥薩線渡駅前より村道渡大槻線を約2.5kmほど行った系原地区では、昨年12月4日より地域住民らで空き地を整備して、グランドゴルフが行われている。グランドゴルフは週

三回(水金曜日)の午前10時から始め、毎回10人ほどが仮設団地や近隣地域からも参加して『ホールインワンだー!』 惜しい!



『ホールインワンだー!』 惜しい!

楽しんでいる。参加者はコロナ禍の感染対策を取りながら、ゲーム中や休憩時も球磨弁が飛び交い、終始笑いが絶えない時を過ごしていた。

球磨村グランド仮設団地から参加している中神ゆみ子さん(茶屋班)は「家でテレビを見ているより、グランドゴルフをしている方が気晴らしにもなり楽しい。楽しみは自分で探さないと」と笑顔でゲームを楽しんでいた。系原班は、7月豪雨で系原橋が流失し一時孤立したが、グランドゴルフで新たな地域のつながりもできてきた。



お茶も楽しい時間に

球磨弁! パート30

わかるかな?

オロロン 〓 おたまじゃくしの卵

ゴマンゾ 〓 小魚

みゃんち 〓 毎日

じゃなか 〓 違う

せく 〓 閉める

ひゅうたぶら 〓 お尻

かるか 〓 考えが甘い

いきみしか 〓 おちやつか 〓 意地悪い

